

【タイマー・補助員】※TO席の

- ・各ピリオドの8分間（高校・一般は10分間）と休憩時間（1・2ピリオド間と3・4ピリオド間は2分、ハーフタイムは10分）をはかる。
- ・次の時にブザーを鳴らして時間の経過を知らせる。
 - ※ 第1ピリオド開始3分前と1分30秒前
 - ※ 第2ピリオド開始30秒前
 - ※ 第3ピリオド開始3分前と1分30秒前
 - ※ 第4ピリオド開始30秒前
- ・各ピリオドや延長の前の休憩時間の計測が終わり、各ピリオドが始まる前に、合図器具を鳴らす。
- ・**審判の笛が鳴ったら**ゲームクロックを止める。（ゲームクロックを止めている間は手を上げて周囲に分かるようにする）
- ・スローインの時には、スローインされたボールがコート内の選手に触れた瞬間にゲームクロックを動かし始める。
- ・タイムアウトの60秒をストップウォッチではかる。50秒経過したら合図を鳴らし、60秒経過したらもう一度合図をならす。（2回目の合図が鳴るまでゲームは再開されない。）
- ・第4ピリオド及び延長戦で残り2分を切ったら、シュートが入った時に審判の笛が無くてもゲームクロックを止める（審判は時計を止める合図を出す）。
- ・ポジションの表示器具を操作する。オルタネイティングポジションルールによるスローインになった場合には、そのスローインが終わってから表示器具を逆方向に示す。
- ・ポジションの表示器具は、前半が終了したら矢印の向きを変えておく。
- ・タイムアウトと交代を、合図器具を鳴らし、合図を出して審判に知らせる。
- ・ファウルがあった時は、審判がファウルをテーブルに伝達し終わってから合図器具を鳴らす。
- ・タイムアウトやピリオド間の休みの時に交代の申し出があった場合には、出場選手の番号を確認するだけで、合図器具は鳴らさない。
(連盟HP資料より)

【指導にあたって】

- 各ピリオド間のブザーを確認しておく。
- 時間が止まっている間は、しっかりと手をまっすぐ上にあげ、「時間を止めていること」を伝える。
- 「時間を流す、止める」事が第一優先であり、点数の処理(デジタイマーを使用している場合)はゆっくりあわてず行うようにする。
- タイムアウト、交代の合図は、正しく、見やすく、大きな声で行うようにしたい。(例)「(合図)タイムアウト、白！」タイムアウトの手の合図は、裏面に記載。
- タイムアウト、交代ができる状況を確認しておく。(裏面に記載)特に、4ピリオド残り2分の取り扱いについて。
- 間違ふことは誰でもあります。しかし、不安に思い、間違えをそのまま流すことのないように指導をしましょう。間違えた場合は、審判に知らせる勇気を持ちたいですね。

【メモ欄】

【タイムアウト・交代の取り扱いについて】

状 況	タイムアウト	交代
ファウル	○	○
ジャンプボールシチュエーション	○	○
バイオレーションで自チームのスローイン	○	○
バイオレーションで相手チームのスローイン	○	○
最後のフリースローが成功した時	○	○
アンスポ・テクニカルのフリースローの後	○	○
シュートを入れられて自チームのスローイン	○	×(※1)
シュートを入れて相手チームのスローイン	×	×